

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】平成26年11月20日 (2014.11.20)

【公開番号】特開2012-82822(P2012-82822A)  
 【公開日】平成24年4月26日 (2012.4.26)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-017  
 【出願番号】特願2011-219686(P2011-219686)  
 【国際特許分類】

F 0 2 C 7/18 (2006.01)

F 0 1 D 25/12 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C 7/18 E

F 0 1 D 25/12 E

【手続補正書】  
 【提出日】平成26年10月2日 (2014.10.2)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガスタービンシステムのケーシング用インデューサであって、当該インデューサが、前記ケーシング内に画成され、該ケーシングの周りに環状アレイで配置される複数のオリフィスと、

各々が前記複数のオリフィスの 1 つと嵌合するように構成され且つ冷却媒体を貫流させるための入口及び出口を各々が含む複数のカートリッジと、

前記複数のカートリッジの各々内に配置され、該複数のカートリッジの各々を通る前記冷却媒体の流れを修正する少なくとも 1 つの流れ修正部と  
を備えており、前記複数のカートリッジの各々が前記複数のオリフィスの各々とは独立して取り外し可能であり、前記少なくとも 1 つの流れ修正部が、前記複数のカートリッジの各々に画成された通路又はベーンである、インデューサ。

【請求項 2】

複数の流れ修正部を更に備える、請求項 1 記載のインデューサ。

【請求項 3】

前記複数のカートリッジの各々が、前記ケーシングのタービンステータ部品内に配置される、請求項 1 又は請求項 2 記載のインデューサ。

【請求項 4】

前記複数のカートリッジの各々が、嵌合する前記オリフィスから半径方向に取り外し可能である、請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項記載のインデューサ。

【請求項 5】

前記複数のカートリッジの各々の入口の断面積が、前記複数のカートリッジの各々の出口の断面積よりも大きい、請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項記載のインデューサ。

【請求項 6】

前記複数のカートリッジの各々を通して流れる前記冷却媒体が、半径方向流れ成分及び接線方向流れ成分の流れを有する流れで前記複数のカートリッジの各々から排出される、請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項記載のインデューサ。

【請求項 7】

前記複数のカートリッジの各々から排出される前記冷却媒体が、前記ガスタービンシステムのロータの速度にほぼ等しいか又はそれよりも大きい速度を有する接線方向流れ成分を有して流れる、請求項6記載のインデューサ。

【請求項 8】

前記複数のカートリッジの各々から排出される前記冷却媒体の一部が更に、前記ガスタービンシステムのロータジョイントに向かって長手方向流れ成分を有して流れ、前記複数のカートリッジの各々から排出される前記冷却媒体の一部が更に、前記ガスタービンシステムのホイールスペースに向かって長手方向流れ成分を有して流れる、請求項6又は請求項7記載のインデューサ。

【請求項 9】

圧縮機及びタービンであってそれらの間にケーシング及びロータを備える圧縮機及びタービンと、

請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか 1 項記載のインデューサと  
を備えるガスタービンシステム。